

【平成 25 年度】

事業名：まちの魅力再発見事業
—縄文の「木のうつわ」復元—

写真：石狩紅葉山 49 号遺跡出土

I. 目的

石狩紅葉山 49 号遺跡（所在地：石狩市花川）では、縄文時代中期（約 4000 年前）の生活用具が多数発見されました。今回は、その中から「木のうつわ（木製の器）」について取り上げます。出土した「木のうつわ」を復元製作し、展示や講座をとおして、郷土の歴史学習に活用していきます。

II. 内容

① 復元製作

- 石狩紅葉山 49 号遺跡から出土した縄文時代の「木のうつわ」を復元製作
（当時の木材利用における技と知恵を考える）



触れる展示教材への活用

② 教育普及活動

見る

資料館テーマ展の開催

- 「縄文の木のうつわ」展

作る

テーマ展関連行事の開催

- 体験講座
ミニチュア「木のうつわ」を作ろう（仮）

学ぶ

郷土の歴史学習への活用

- 資料館外での展示・講座
（学校教育、出前講座など）